

[成果情報名]ステムレタスの春作栽培

[要約] ステムレタスの春作栽培は、2月上旬は種、3月下旬定植の作型で6月下旬の収穫となり、茎長100cm以上、茎重600g以上となる。平均茎重600g以上を確保できる作型は、最低気温が5℃以上となる3月中旬から、定植後の生育積算温度1,685℃で、生育日数80日以上を確保できる4月中旬までである。

[キーワード] ステムレタス、春作、積算温度、加工歩留り

[担当] 農林技術開発センター・干拓営農研究部門

[連絡先] (代表) 0957-35-1272

[区分] 総合・営農(干拓)、野菜

[分類] 指導

[背景・ねらい]

諫早湾干拓地における大規模営農では経営安定の方策として、契約等による加工・業務用野菜の生産の重要性が高い。「ステムレタス」は、そのほとんどが中国から輸入されており、一般に「山くらげ」の名前で加工品が販売されている。

国産志向が高まる中で将来的な需要も見込まれことから、2008年から秋作栽培での生育特性や収量性を調査し、茎長70cm以上、茎重600～700g以上を確保できる作型を設定した。(2008年研究成果情報) 秋作のみならず、幅広い作型での供給を目指す中で、春作の可能性について調査する。

[成果の内容・特徴]

1. ステムレタスの春作栽培は、2月中旬は種、3月下旬定植の作型で、は種後129日(定植後88日)で茎長100cm以上、茎重600g以上となる。(表1、2)
2. 定植後の生育積算温度と平均茎重との関係から、目標茎重600gに到達する積算温度は1,685℃前後である。(図1)
同様に定植後の生育日数と茎長との関係から、80cm以上の茎長で十分な茎重を確保しできる生育日数は80日以上である。(図2)
3. レタスの生育最低温度5℃、平均気温を8℃以上をステムレタスに適用して中央干拓地の気象値(平年値)に照らして作型を設定すると、最低気温が5℃以上となる3月中旬から、定植後の生育積算温度1,685℃で80日以上が確保できる4月中旬までが定植期である。(表3、表4)

[成果の活用面、留意点]

1. 春作での栽培は、温床で育苗し、本葉3～4枚を定植の目安とする。
2. 栽植密度は秋作と同様に、畦巾120cm、株間30cm、2条植えとする。
3. 施肥量は、全量元肥とし、全面全層施肥で総窒素量10kg/10aとする。
4. 収穫が遅れ、抽苔、開花しても加工上の問題は少ないが、芯部に空洞が発生することがある。
5. 利用できる加工部位は、茎の皮を除いた芯部分で、茎重の48%程度となる。
1次加工処理のため、通風乾燥した場合製品率は収穫茎重の3%、乾物率6%前後である。(参考1)

[具体的データ]

表1 ステムレタスの春作栽培での生育

は種	定植	収穫	は種後 生育日数 (日)	茎重 (g)	茎径 (mm)	茎長 (cm)	10a収量 (kg)
02/13	03/26	06/10	117	443	48	63	2,459
		06/15	122	441	45	70	2,447
		06/22	129	660	48	107	3,667
03/01	04/16	06/10	101	238	32	53	1,324
		06/15	106	426	45	70	2,364
		06/22	113	556	46	89	3,086
03/01	04/23	06/22	113	371	35	101	2,059

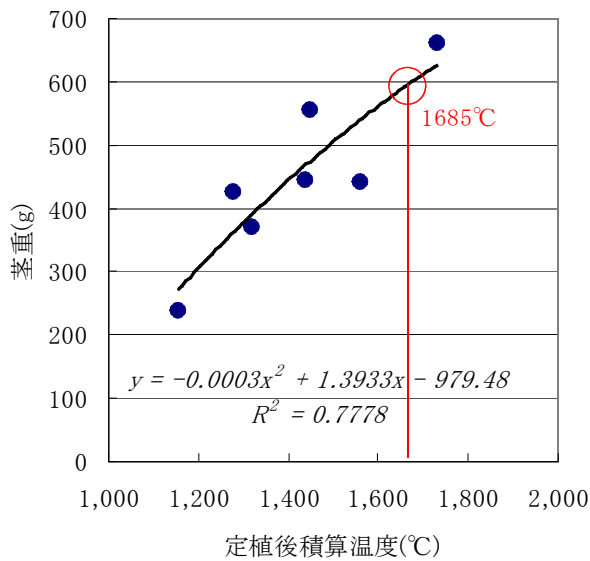


図1 定植後の生育積算温度と茎重の関係

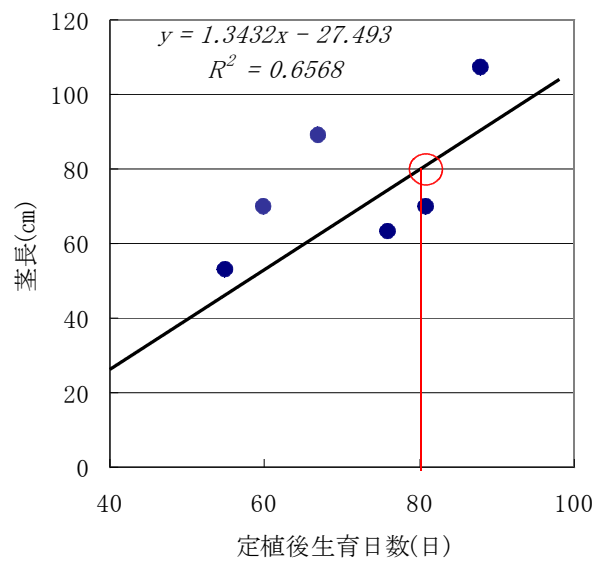


図2 定植後の生育日数と茎長の関係

表3 諫早湾干拓地の旬別気温、平年値

月	旬	平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)
3月	上旬	8.3	13.6	2.8
	中旬	10.5	16.0	4.4
	下旬	11.6	17.5	5.6
4月	上旬	14.2	20.7	7.4
	中旬	15.8	20.5	10.0
	下旬	17.0	21.2	10.8

表4 定植日と生育日数の関係

定植日	積算温度	定植後
	1685°C	生育日数
到達日		
03/01	06/12	103
03/11	06/15	96
03/21	06/19	90
04/01	06/24	84
04/11	06/30	80

参考1 ステムレタスの加工歩合、製品率

(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(c)/(b)	(c)/(a)
平均茎重	剥皮後 茎重	加工 歩合	乾燥後 重量	乾物率	製品率
(g)	(g)	(%)	(g)	(%)	(%)
876	421	(48.1)	26.4	(6.3)	(3.0)

[その他]

研究課題名：諫早湾干拓大規模環境保全型農業技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2008～2010年度

研究担当者：小林雅昭

発表論文等：なし